

校長だより

和歌山市立八幡台小学校

2021.06.11

NO.20

地域の「西尾さん」とジャガイモ収穫



地域の西尾さんは、なかよし学級の学級園（畑）のお手伝いをしてくれています。今回、春先に植え付けたジャガイモの収穫時期となり、お手伝いに来てくださいました。子どもたちに作業の概要を説明していただき、早速収穫！！ゴロゴロとおいしそうなジャガイモが収穫できました。「校長先生、これこれ！」「おっきいで！」「見て～～こんなにとれた！」笑顔

いっぱいの子どもたち。家ではなかなか経験できないことでしょう、大喜び、興奮いっぱい収穫していました。西尾さんは「みんな、まだイモ拾いやね。イモは土に埋まっているよ。」といいながら、鍬で土を掘ってくれました。すると、土中からおおきなジャガイモがいくつも出てきました。西尾さんは「さあ、みんな、土を掘って、イモほりするよ～～」と。子どもたちも土を掘り堀りイモを収穫し始めました。イモ拾いから芋ほりになったな、と見ている私たちも楽しくなってきました。最終的には、100kg近く収穫できたようです。学級園2面でこれほど収穫できるのかと驚きました。このような栽培、収穫体験は、子どもたちの五感を大いに刺激してくれることでしょう。このような刺激は、五感の発達はもちろん、情操面でも良い効果があるといわれています。他の学級でも、発達段階、カリキュラムを踏ま



えた栽培活動に取り組んでいます。子どもたちが多様な体験をすることで、豊かに成長してほしいと願っています。

西尾さん、どうもありがとうございました。